

5001 個人投資家向け説明会資料

**変革へのチャレンジ**  
**～ 第4次中期経営計画 ～**

**新日本石油株式会社**

**経営管理第1本部 IR部長 中島 祐二**

2008年6月6日



**新日本石油**  
Your Choice of Energy

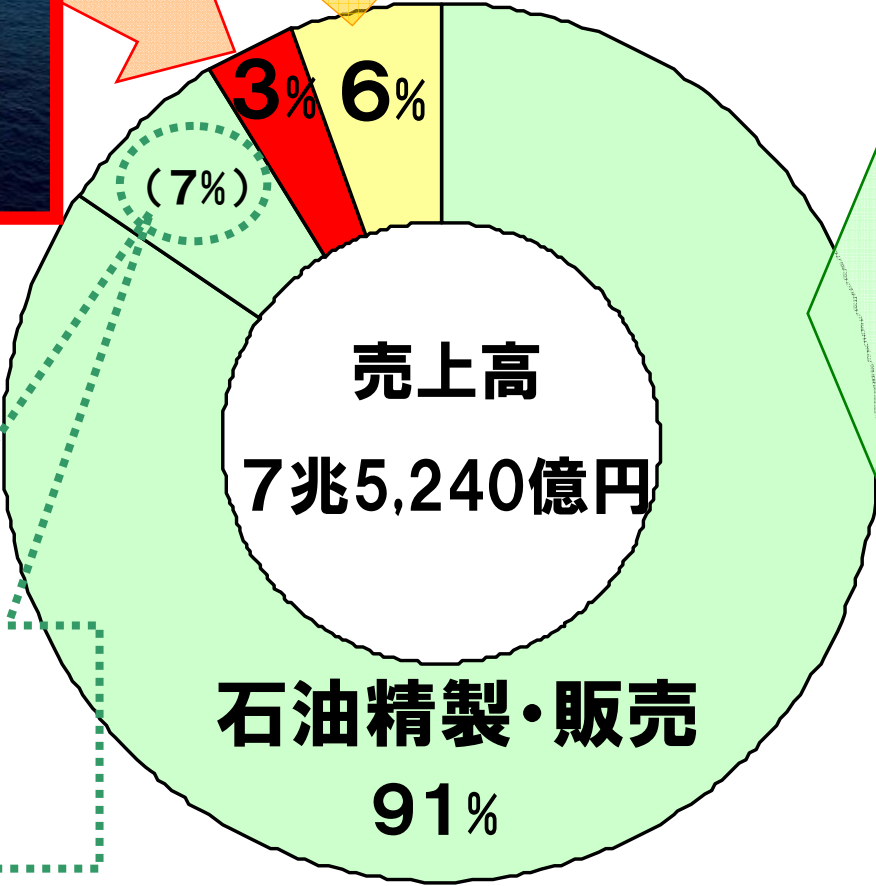
# 当社の事業構成① 売上高 (2007年度実績)

## <石油・天然ガス開発>



建設・その他  
4,270億円

## <石油精製・販売>



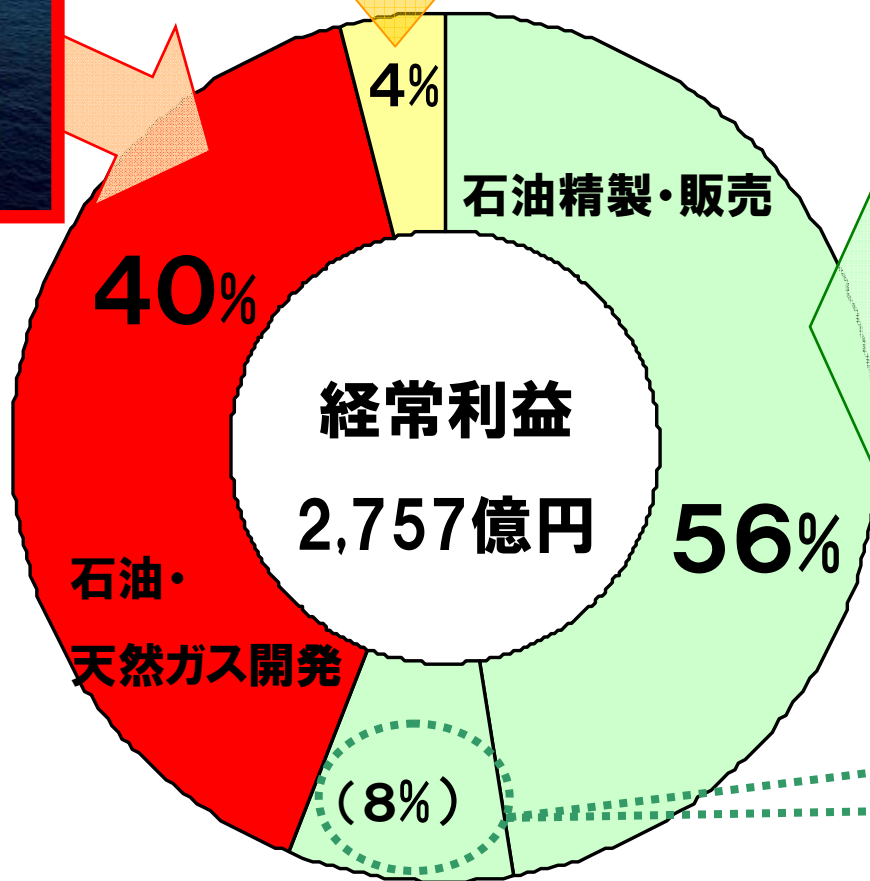
<うち石油化学>  
5,041億円

# 当社の事業構成② 経常利益(2007年度実績)

## <石油・天然ガス開発>



建設・その他  
105億円



## <石油精製・販売>



## <うち石油化学>

226億円

## ●石油だけでなく、さまざまなエネルギーを提供する

『**総合エネルギー企業グループ体制**』の確立

探鉱・開発



精製・生産



輸入・備蓄



物流

石油

LNG

電気

燃料電池

石油化学

石炭

自然エネルギー

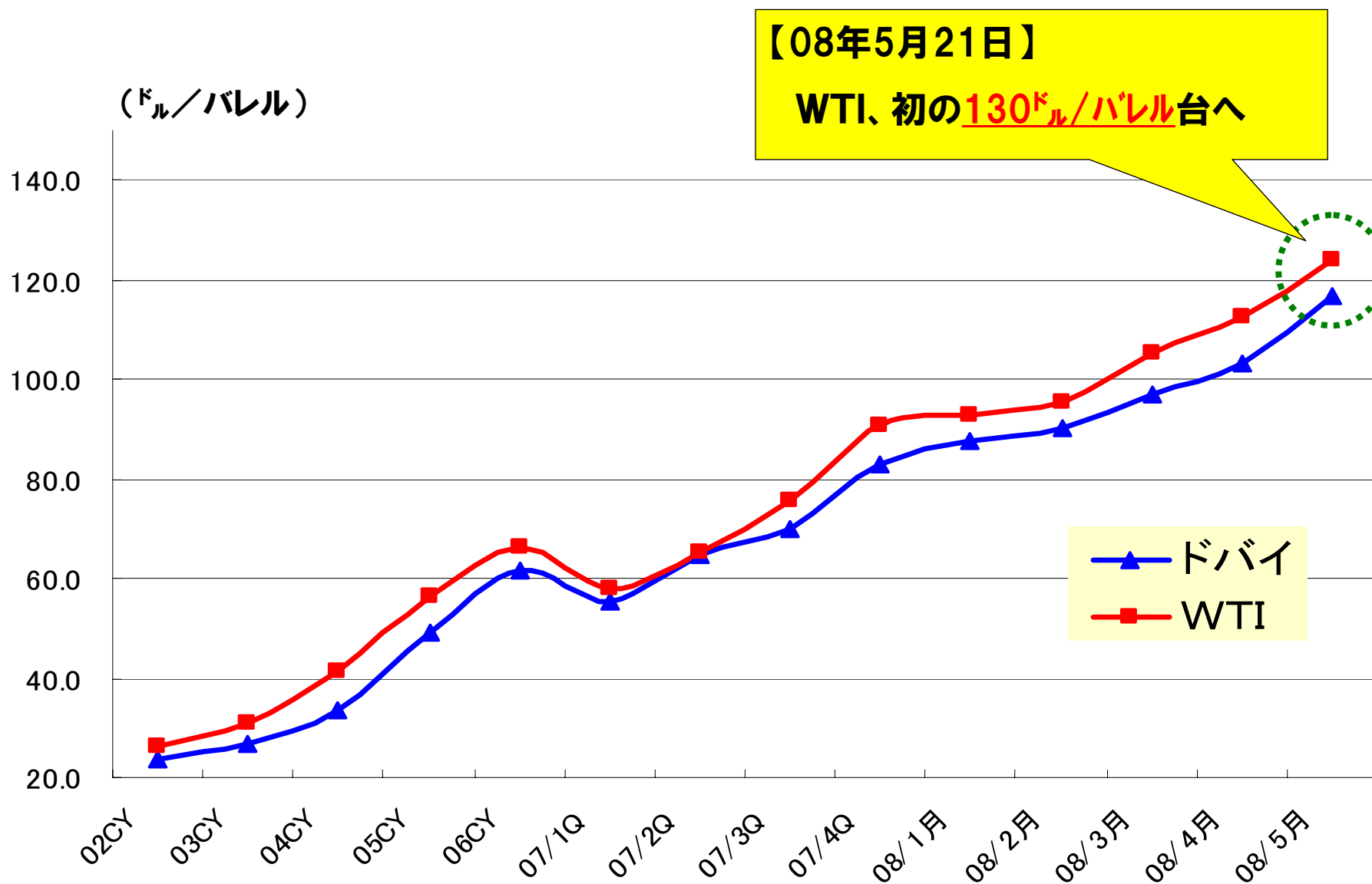


販売

## ●探鉱・開発から販売に至る

『**一貫操業体制**』の確立

# 原油価格の推移



## 九州石油 との経営統合

- ・2008年10月(予定)
- ・大分製油所  
精製能力 16万バレル/日  
燃料油国内販売シェア 2.3% (06年度)

## 日本海石油の原油処理停止

- ・2009年3月末(予定)
- ・富山製油所  
精製能力 6万バレル/日

## 中国石油天然ガス集团公司(CNPC) との石油精製合併会社設立



- ・2009年4月(予定)
- ・大阪製油所  
精製能力 11.5万バレル/日  
輸出型製油所への転換

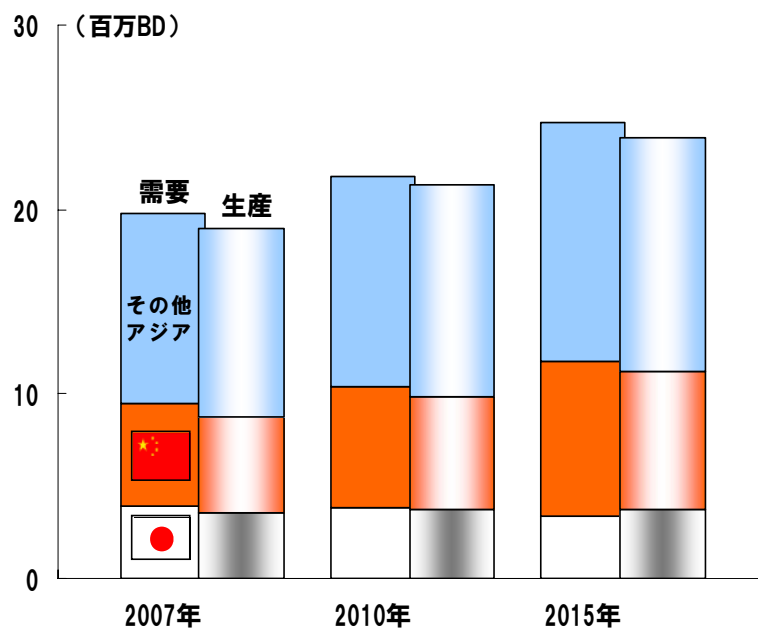
## ENEOSセルテックの設立

- ・2008年4月1日付
- ・「定置用燃料電池事業」の合併会社  
(出資:当社81%、三洋電機19%)

## 石油製品市場

### アジア・太平洋の需給見通し\*1

2007→2010年：国内需要 ▲2.0%/年  
 (日本除き) アジア需要 +4.4%/年

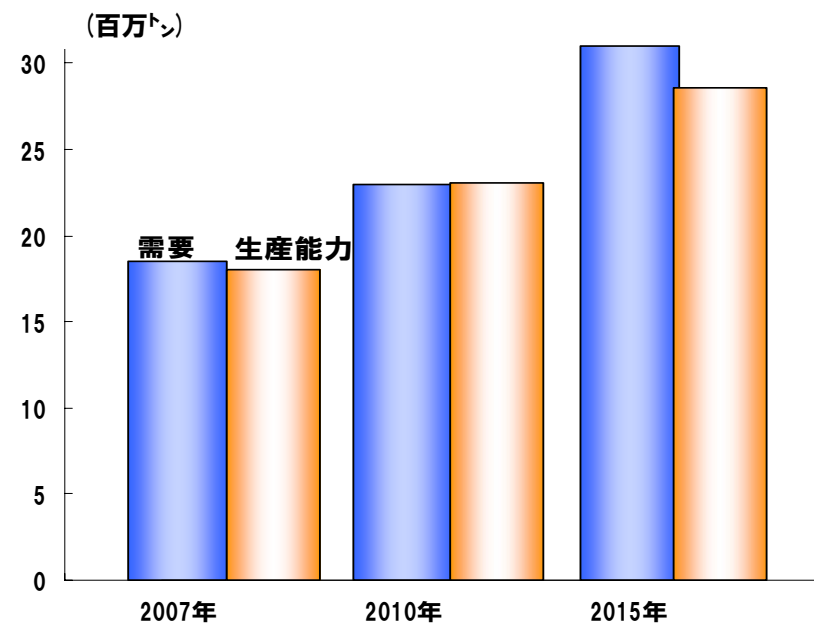


\*1当社推定

## 石化製品市場

### アジアのパラキシレン需給見通し\*2

2007→2010年：需要 +8%/年、生産 +9%/年  
 2010→2015年：需要 +6%/年、生産 +4%/年



\*2当社試算

## 事業環境

原油 高

石油需要

・国内 ⇒ 減

・アジア ⇒ 増

石油化学製品

需要 堅調

環境問題

## 短期的課題の解決

- コア事業である石油精製・販売事業の立て直し

## 中・長期的成長戦略の実行

- C R I \* のさらなる推進による石化事業強化
- 石油・天然ガス開発事業の着実な拡大
- アライアンスを軸とする海外事業の強化
- 新規技術型事業の推進

\* Chemical Refinery Integration (石油精製と石油化学の統合)

## 環境経営の推進

- 地球温暖化防止対策の推進



# 第4次中計 — 石油精製・販売①

## 全日本の原油精製能力（当社作成）

元売グループベース	製油所数	能力 (万バレル)	精製シェア
<b>新日石 (九石大分を含む)</b>	<b>8</b>	<b>143.7</b>	<b>29.4%</b>
東燃ゼネラル	4	83.6	
出光興産	4	64.0	
コスモ石油	4	63.5	
昭和シェル石油	3	51.5	
ジャパンエナジー	2	47.5	
その他	4	35.7	
合計*1	29	489.5	

(注)

\*1 精製能力合計

(出所:石油連盟 08年3月末)

\*2 富山製油所

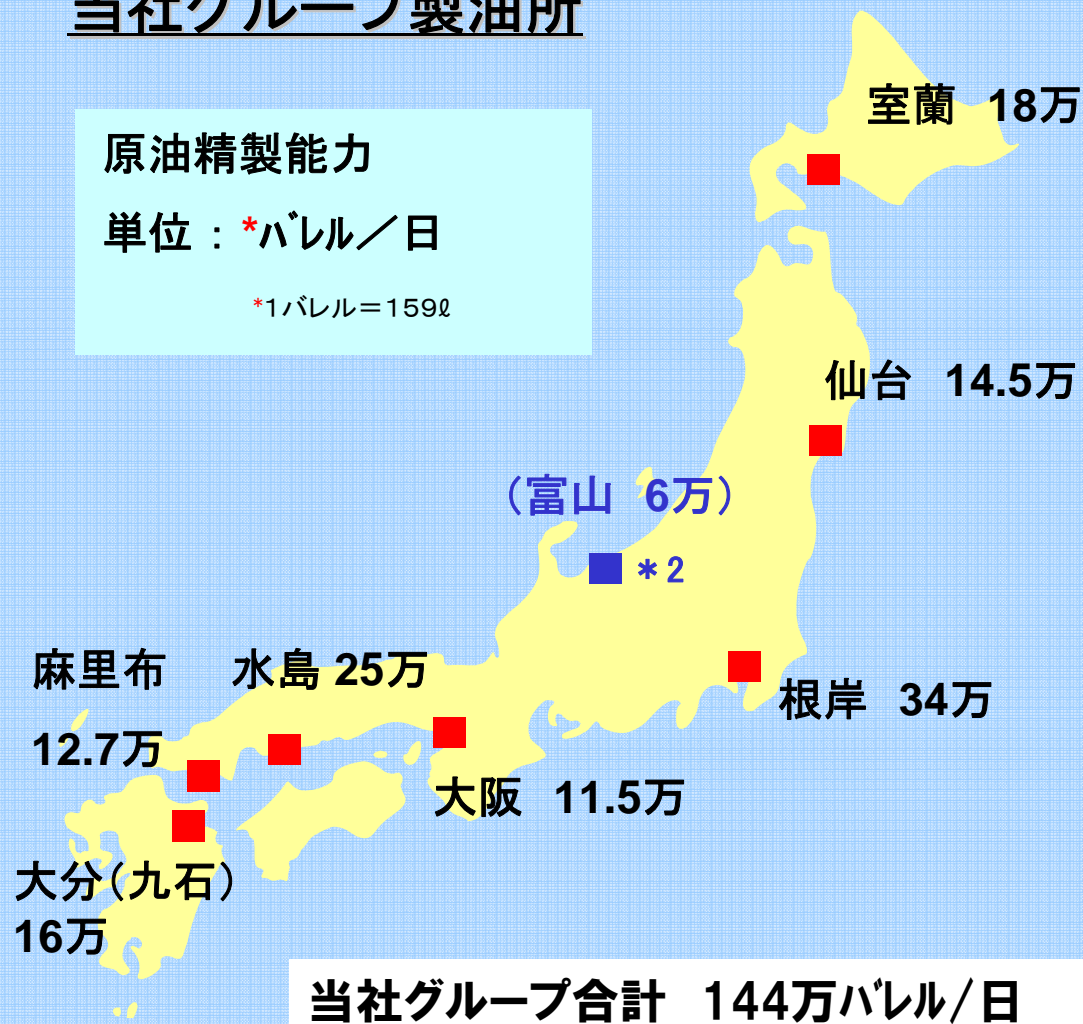
(09年3月末原油処理停止予定)

## 当社グループ製油所

原油精製能力

単位：\*バレル/日

\*1バレル=159ℓ

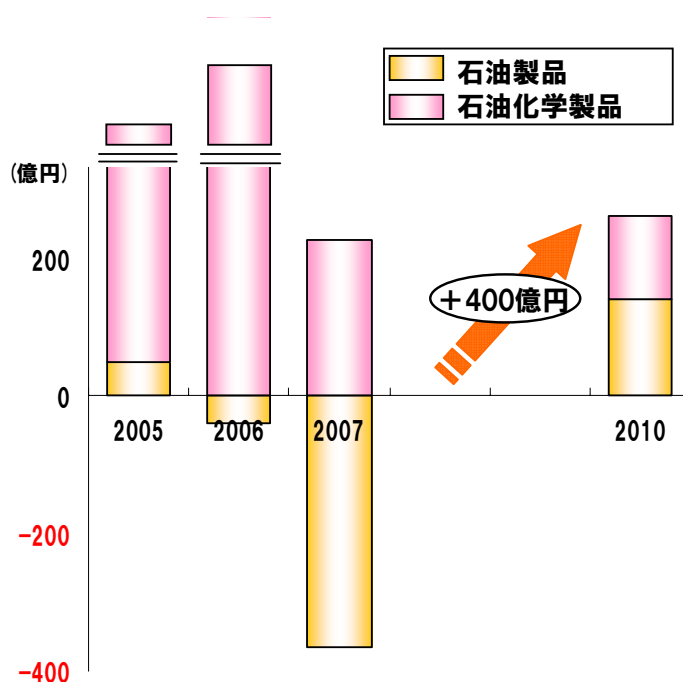


## 構造改革による石油精製・販売事業の立て直し

### 構造改革の実行



石油精製・販売部門 経常利益(在庫影響除き)見通し



### (1) 最適生産・販売体制の確立

- ・九州石油との経営統合
- ・富山製油所(日海石)原油処理停止
- ・輸出拡大
- ・透明性の高い価格体系構築
- ・TOCOM\*の利用拡大

### (2) 製油所競争力強化

- ・コスト競争力強化のための設備投資
- ・製油所トラブル大幅削減

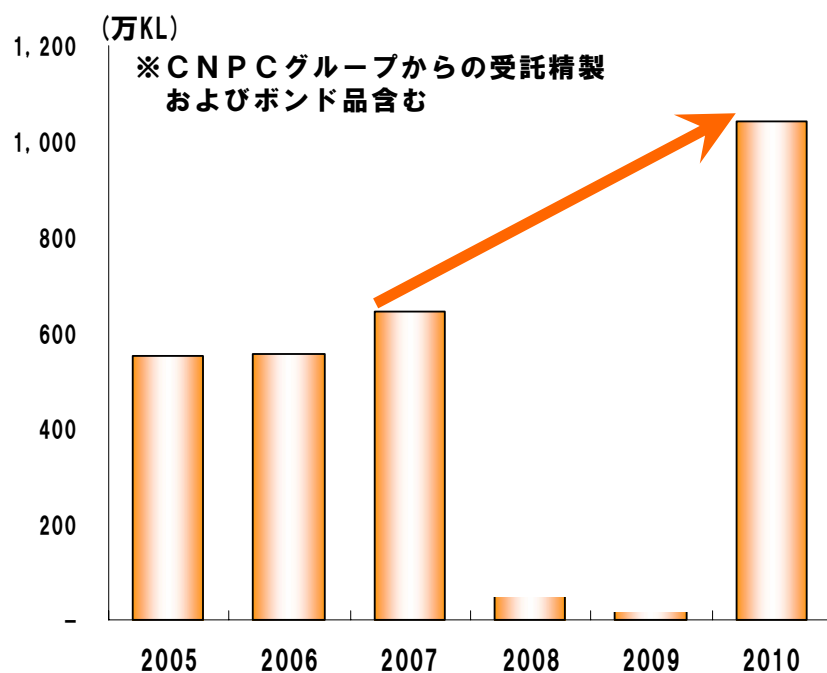
### (3) 石油化学事業強化

- ・九石統合と提携による能力増強
- ・グローバルニッチ商品の生産拡大

\*TOCOM:東京工業品取引所(The Tokyo Commodity Exchange)

## 最適生産・販売体制の確立

### 石油製品輸出数量見通し



輸出の拡大

九州石油との経営統合

CNPC\*との合併事業

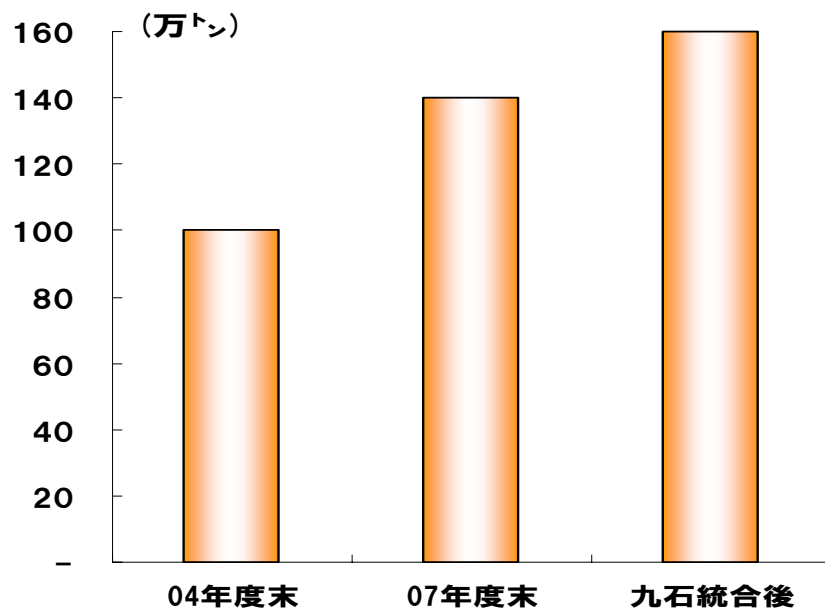
・大阪製油所を輸出型へ転換

\*中国石油天然ガス集团公司  
(中国最大の石油会社)

## 石油化学事業の強化

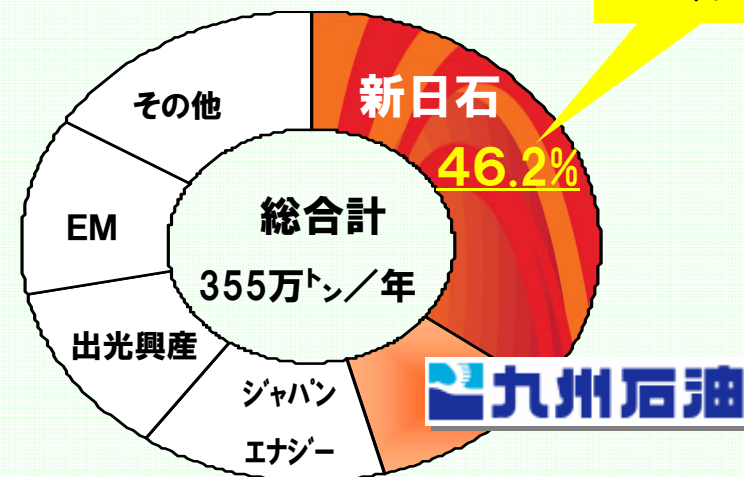
### パラキシレン生産能力

長期目標200万トン  
市況、建設コストを  
見極めた上で判断



## 基礎化学品の生産能力増強

### <国内パラキシレン生産能力>



出所: 経済産業省(07年12月末)

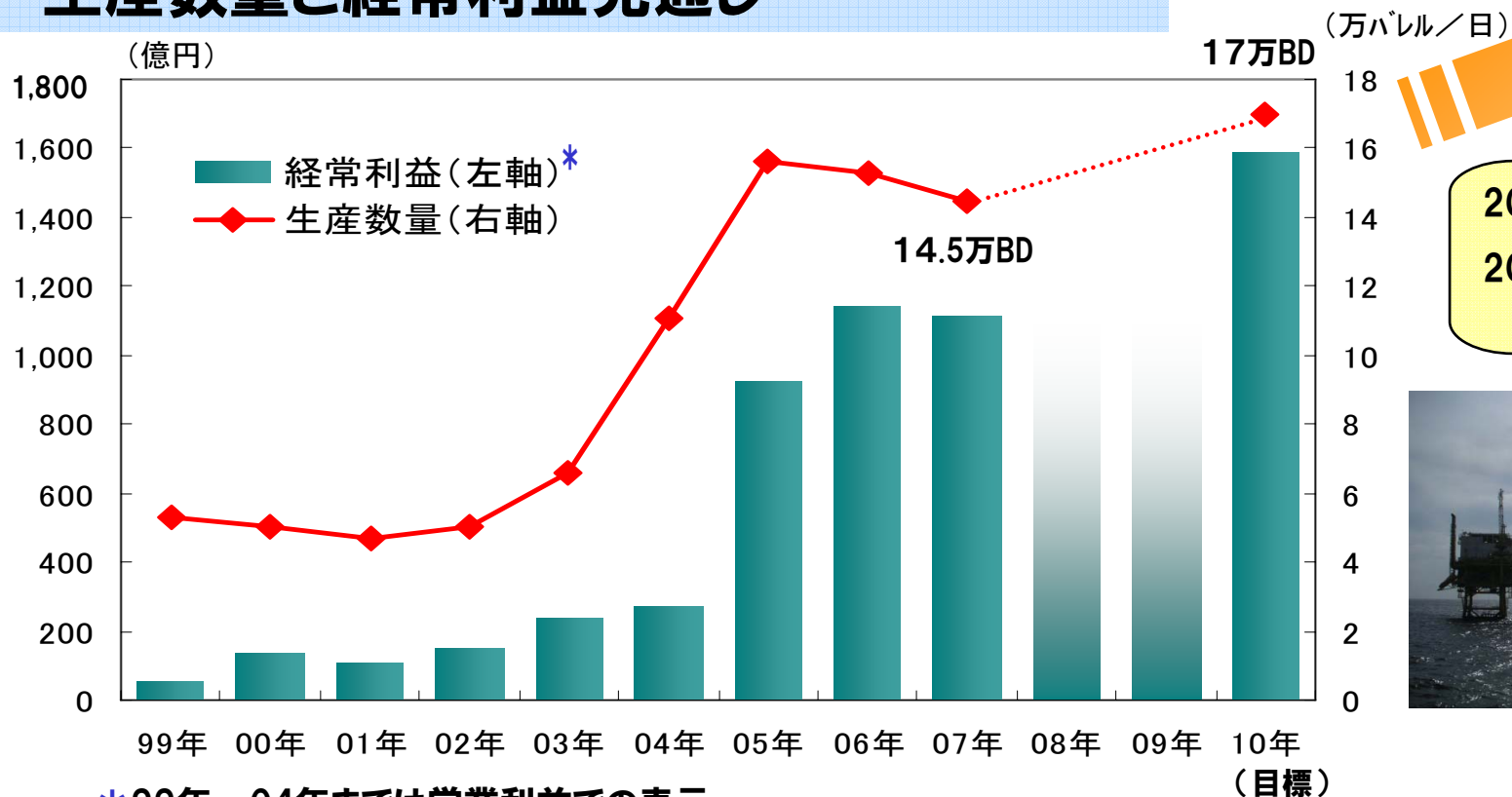
## グローバルニッチ商品の生産拡大

- ・国内外の生産設備能力増強  
(ENB\*1、サイダー\*2、ワリフ\*3ほか)

世界シェアNo. 1

- \*1 ENB……自動車用特殊ゴム原料
- \*2 サイダー……電子部品用高性能プラスチック
- \*3 ワリフ……ポリオレフィン不織布

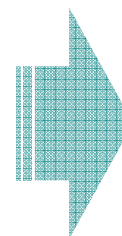
## 生産数量と経常利益見通し



\*99年～04年までは営業利益での表示

探鉱・既存プロジェクトの開発投資を拡大

実績のあるコア4地域に重点投資



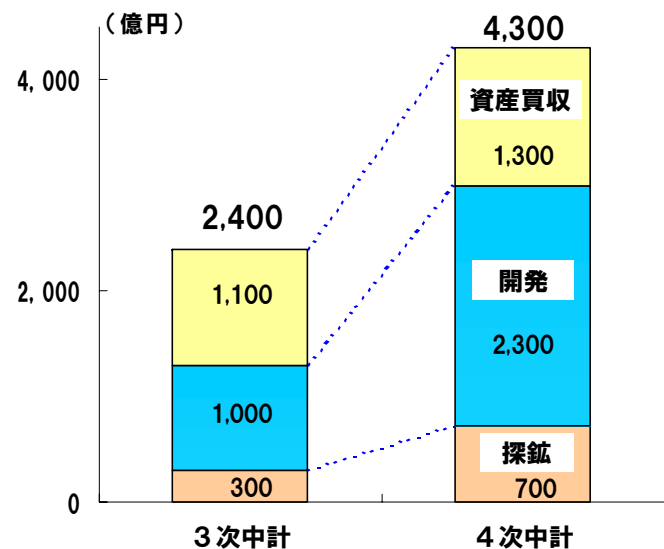
成長戦略の柱として  
さらに事業を強化



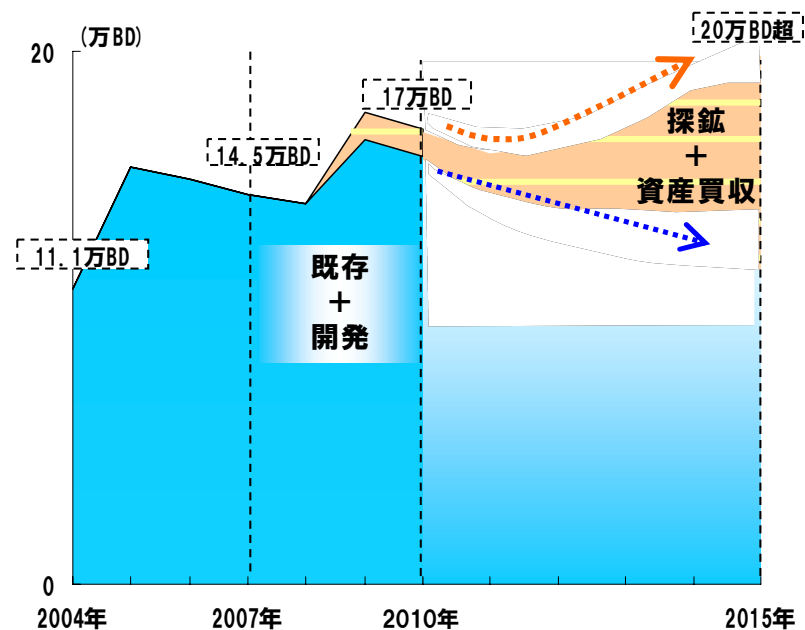
## 探鉱投資・既存プロジェクト開発投資を拡大

減退抑制・新規開発

石油・天然ガス投資内訳



生産数量見通し



## 引き続き実績のあるコア4地域に重点投資

### 活動エリア



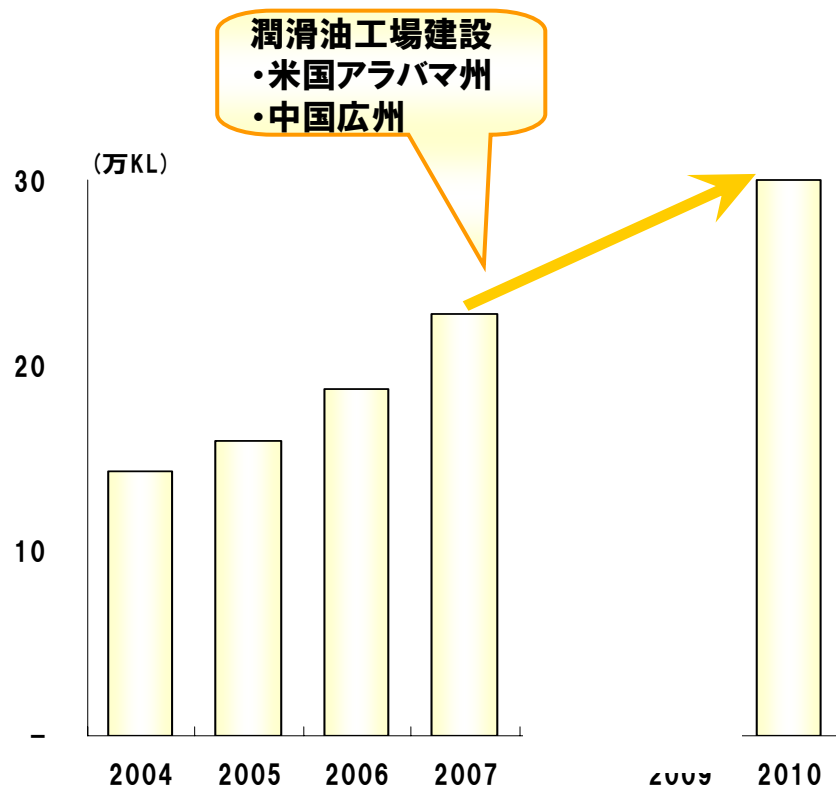
### プロジェクト別 生産スケジュール

主要新規開発案件				
2008	2009	2010	2011～2014	2015
インドネシア タング	英国北海 ウエストン	英国北海 フィディック	ハブアニューギニア LNG	
	⋮	⋮	インドネシア タング 第3トレイン	
ベトナム フンドン			カナダ シンクルード 拡張	
			⋮	
探鉱案件			マレーシア PM308A	
			タイ B6/27	
			ベトナム 16-2	
			マレーシア SK333	
			リビア	

当社はベトナム、マレーシア、米国メキシコ湾にてオペレーターとして生産活動の中心的役割を果たしている。また、英国北海およびリビアの探鉱事業においてもオペレーターとして活動している。

## 海外事業強化

海外潤滑油販売数量



## 海外潤滑油事業強化・拡大

- ・新たな生産／販売拠点確保を検討



## アジア・太平洋地域での事業拡大

- ・CNPC／SKとの提携・協業が軸

## 海外技術型事業の展開

- ・\*レコサール、精製プロセス技術、触媒等



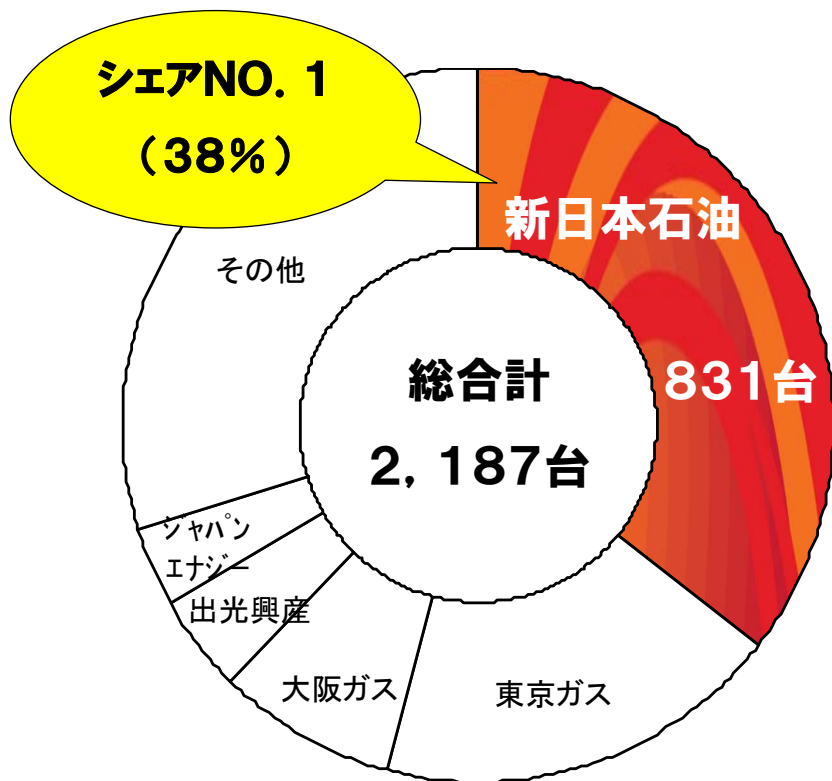
\*石油精製副産品である硫黄を有効利用する建築・土木用資材



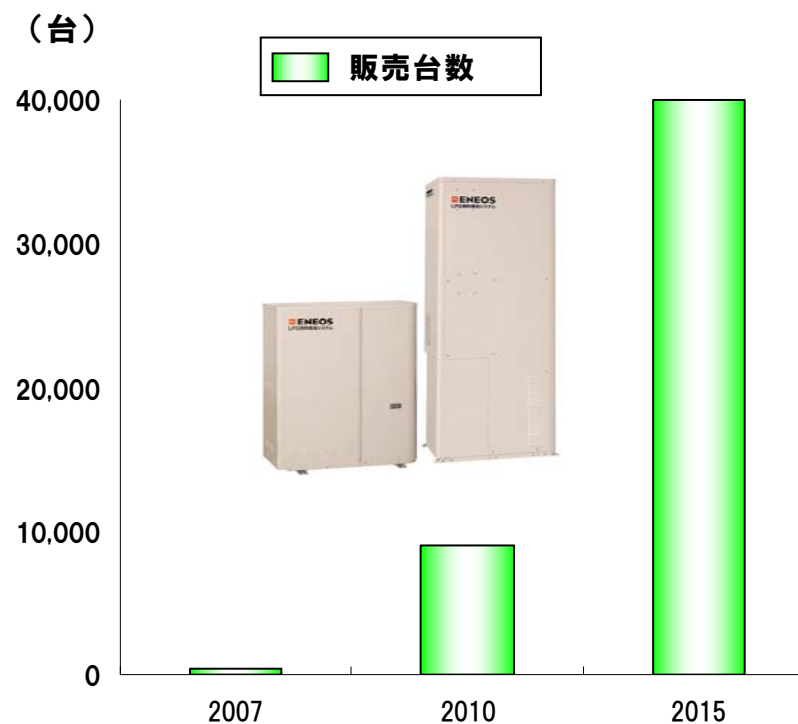
## 家庭用燃料電池の設置および販売

### <家庭用燃料電池設置状況>

(2005~2007年度)



### 家庭用燃料電池(FC)販売計画



## ホームエネルギー戦略について

### FCシステム開発・生産体制再構築

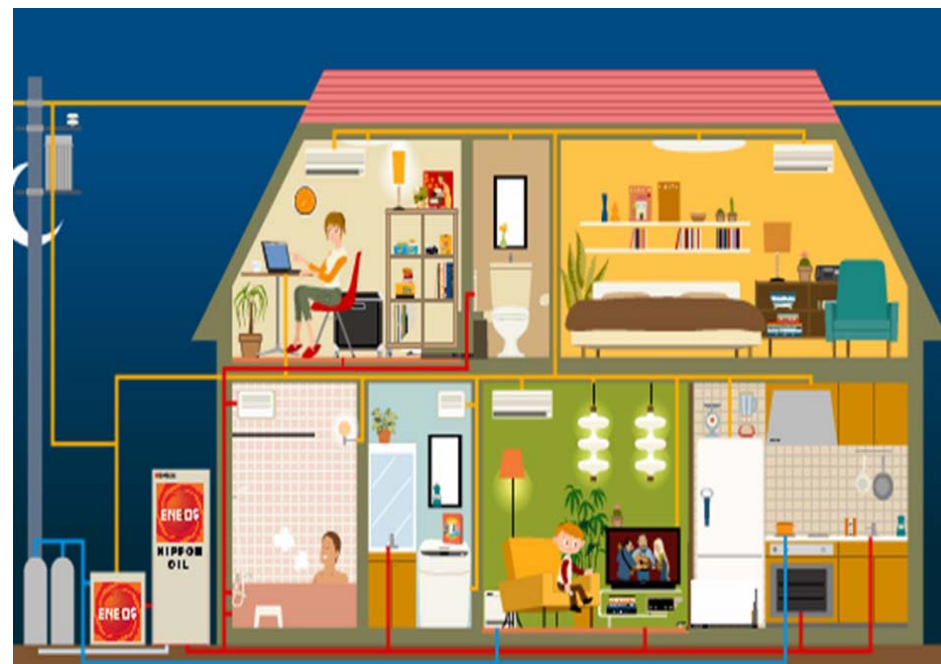
- ・ ENEOSセルテック\*設立

### 太陽光発電システム事業を推進

- ・ FC・ソーラー事業部設置
- ・ スペースエナジー社への出資
- ・ 東大先端研との共同研究開始

### FCを核とするホームエネルギー戦略

### 【イメージ図】



\*:ENEOSセルテック・・・当社出資81%、三洋電機出資19%  
の定置用燃料電池事業の合併会社。2008年4月設立。

## (1) 財務目標・計画

原油価格:ドバイ原油  
為替レート

2010年度

85 \$/B  
105 円/\$

中・長期的に  
10%を目指す

**ROE**

**8%**

**経常利益 (在庫影響除き)** (億円)

**2,000**

石油精製・販売  
(石油製品)  
(石油化学製品)  
石油・天然ガス開発  
建設・その他

260  
(140)  
(120)  
1,590  
150

**設備投資 (3 ヶ年累計)** (億円)

**8,500**

有利子負債  
ネットDEレシオ

16,500 億円  
100 %以内

\*エネルギー消費原単位

常圧蒸留装置換算通油量当たりのエネルギー使用量

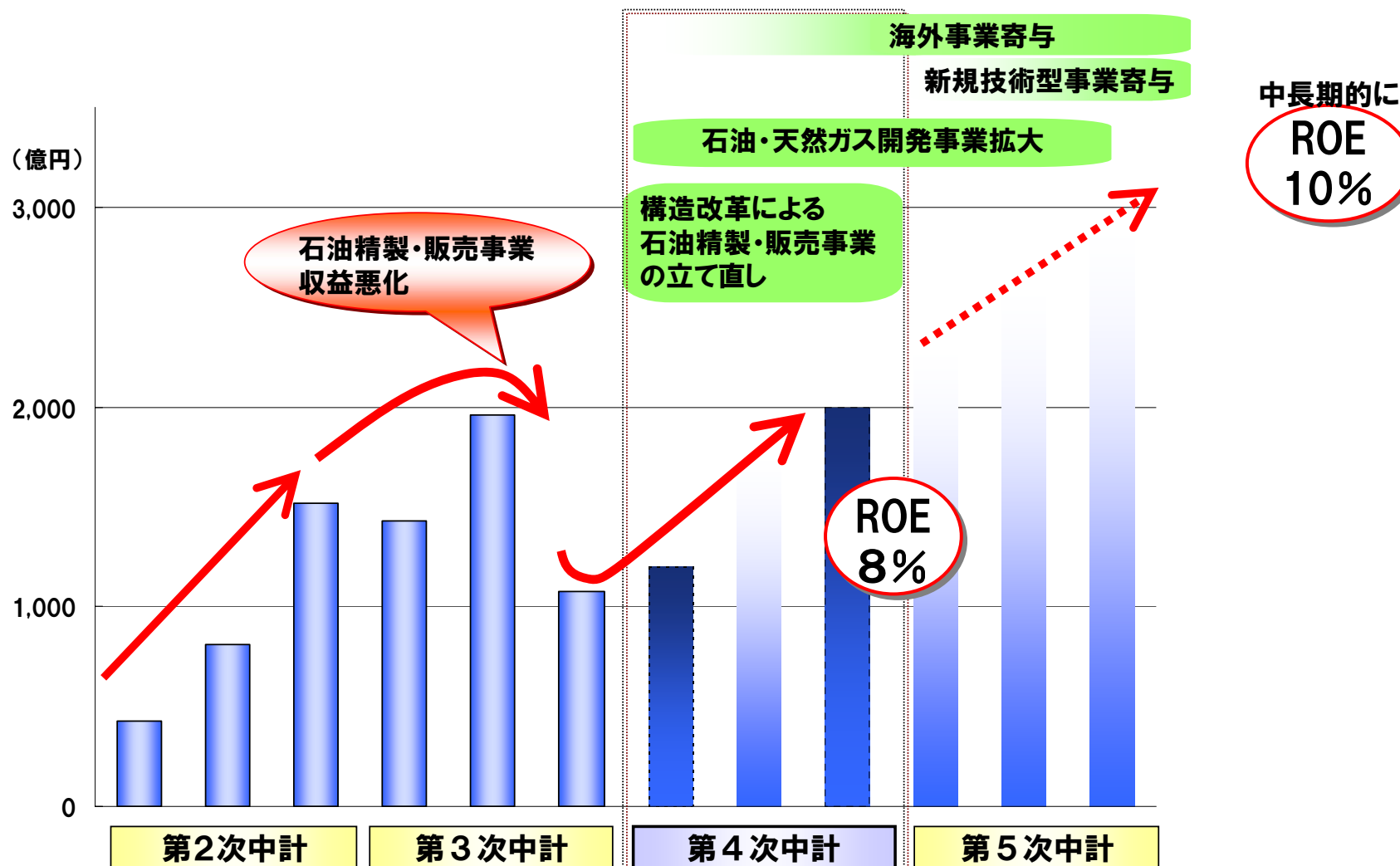
## (2) 環境目標

**精製部門のエネルギー消費原単位\***

**1990年度対比、2010年度20%削減**

# 第4次中計 — 経常利益推移

## 在庫影響除き経常利益推移

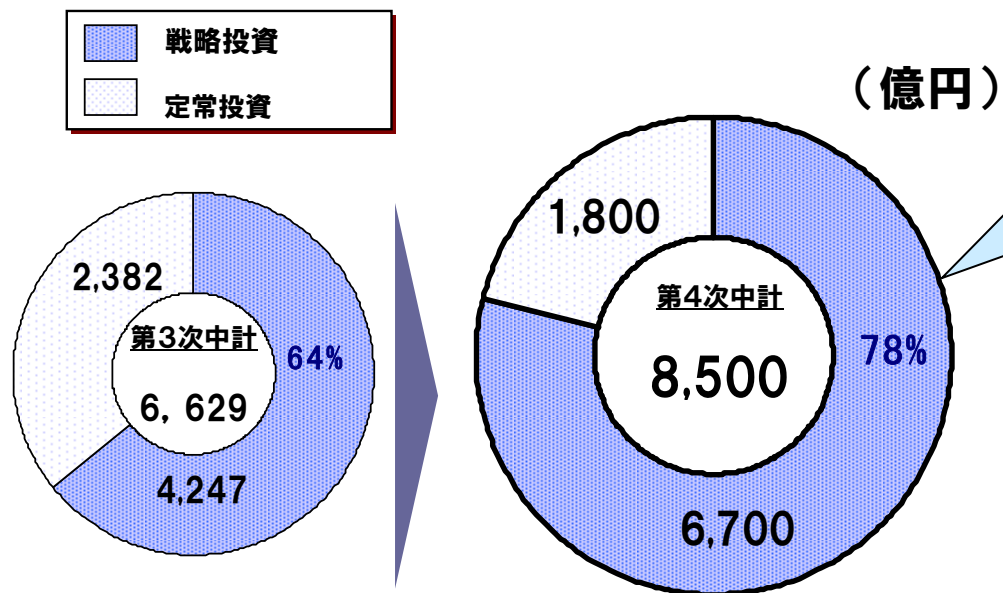


## 戦略投資の拡大

定常投資の削減

投資の選択と集中

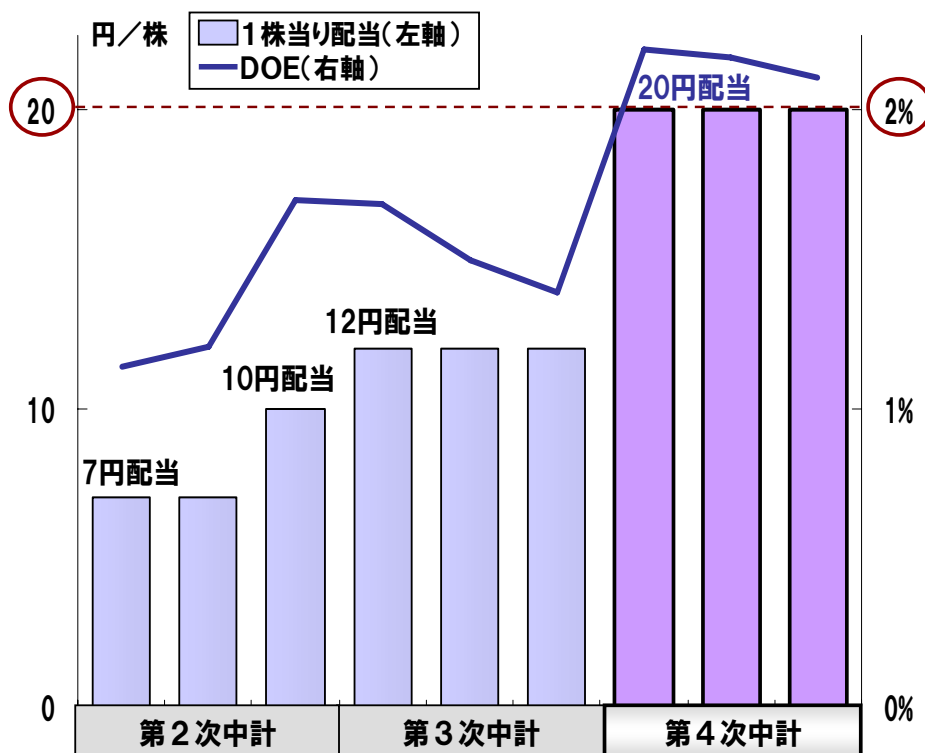
### 設備投資計画



石油・天然ガス開発	<u>4,300</u>
石油精製・販売競争力強化	2,000
新規技術型事業ほか	400

## 株主還元拡大

### 株主還元推移



**1株当たり配当 年間20円/株**

**DOE\* 目標 2%以上**

\*DOE: 自己資本配当率 =  $\frac{\text{配当総額}}{\text{自己資本}}$

※株主優待制度の廃止

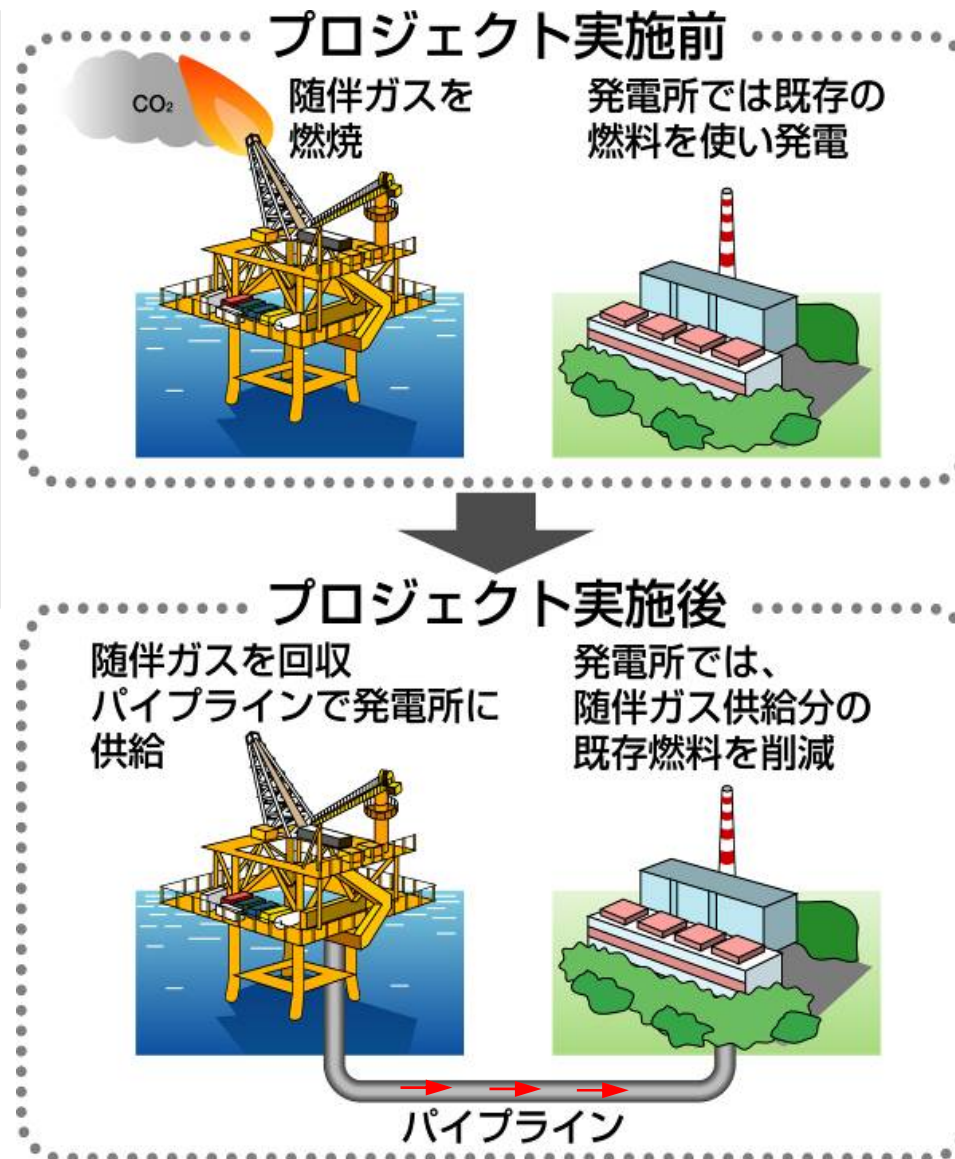
2008年9月末の株主様を対象とした株主優待実施を最後に、以後、本制度を廃止いたします。

# 第4次中計 - ベトナム油田CO2削減プロジェクト

## CDM(Clean Development Mechanism)プロジェクト

### ベトナム南部沖・ランドン油田

随伴ガス(原油生産の際に発生するガス)を回収し、有効利用することにより、CO<sub>2</sub>排出量を削減する仕組み。  
**世界最大級**のCDMとして国連機関にも登録(06年2月)。  
10年間で、合計800万トンの削減量を見込んでいる。  
今回、約450万トン(4年分)の排出権が発行された。



～ 変革へのチャレンジ～

原油高

国内石油需要減

新規技術型事業の推進

環境問題

アジア石油需要増

海外事業の強化

上流事業の着実な拡大

石油精製・販売事業の立て直し

環境経営推進

技術／人材



**エネルギーの未来を創造し  
人と自然が調和した豊かな社会の  
実現に貢献します**



本説明会資料やIR全般に関するご意見、ご感想、お問い合わせは、  
下記のIR担当までお願いいたします。

新日本石油株式会社  
経営管理第1本部 IR部IRグループ  
TEL(03)-3502-1184

<http://www.eneos.co.jp>

## <見通しに関する注意事項>

本資料に記載されている当社の業績見通し、経営目標等のうち、歴史的事実でないものにつきましては、現時点で入手可能な情報に基づき、当社の経営陣が判断したものであります。

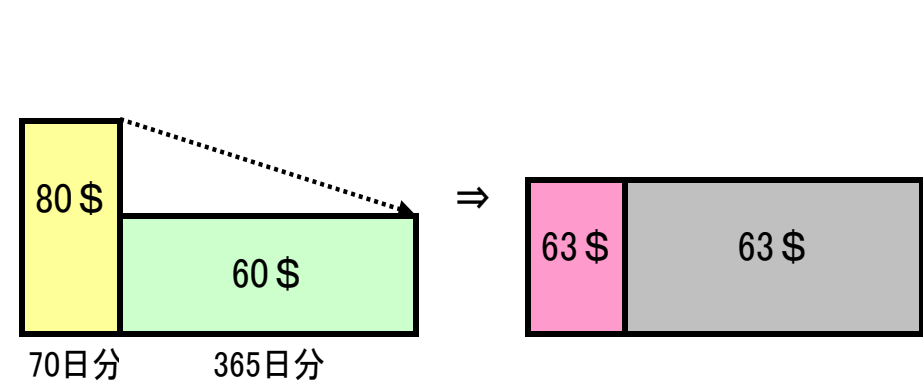
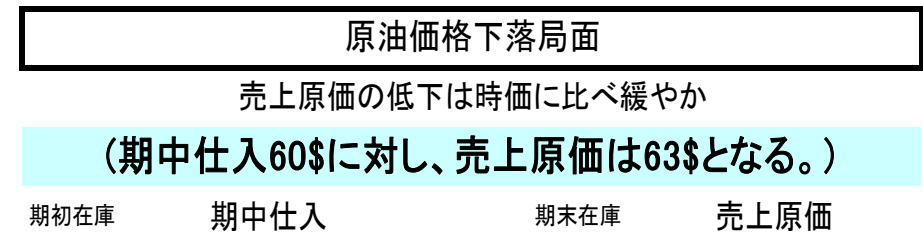
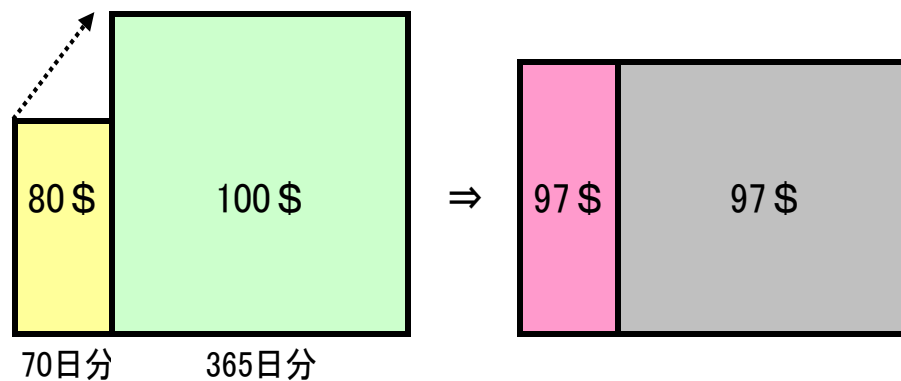
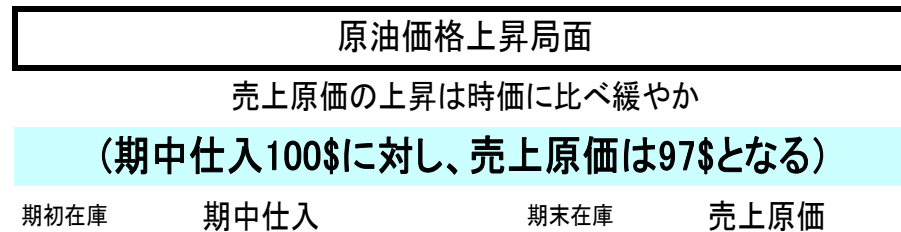
実際の業績等につきましては、さまざまな要素により、これらの業績見通し等と大きく異なる結果になりうることをご承知置き下さい。従いまして、業績見通し等に全面的に依拠して投資判断を下すことは、控えていただきますようお願いいたします。

なお、実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、原油価格、石油・石油化学製品の需要動向および市況、為替レートならびに金利の動向が含まれますが、これらに限定されるものではありません。

# 以下、参考資料 (質疑応答用)

# 在庫影響について

- 後入先出し法を採用した場合の原価(仕入価格=売上原価)と、  
総平均法(仕入価格と**在庫価格**の加重平均=売上原価)による  
実際の原価との差を表します。



\* 原油価格はモデル値であり、実際の価格とは異なります。

# Dr. Driveについて

## 高付加価値型サービスステーション

## Dr. Drive(ドクタードライブ)の展開

## 全国約2,300か所

(当社系列SS総数 全国約10,000か所)

国内 NO.1



SSと整備工場という2つの機能を  
併せ持ち(国家資格整備士が在籍)、  
高品質なカーケアサービスを提供

お客様の安心・爽快なドライブを  
サポートするサービスステーション

Dr. Drive 車検まかせ太くん

こだわりの手洗い洗車



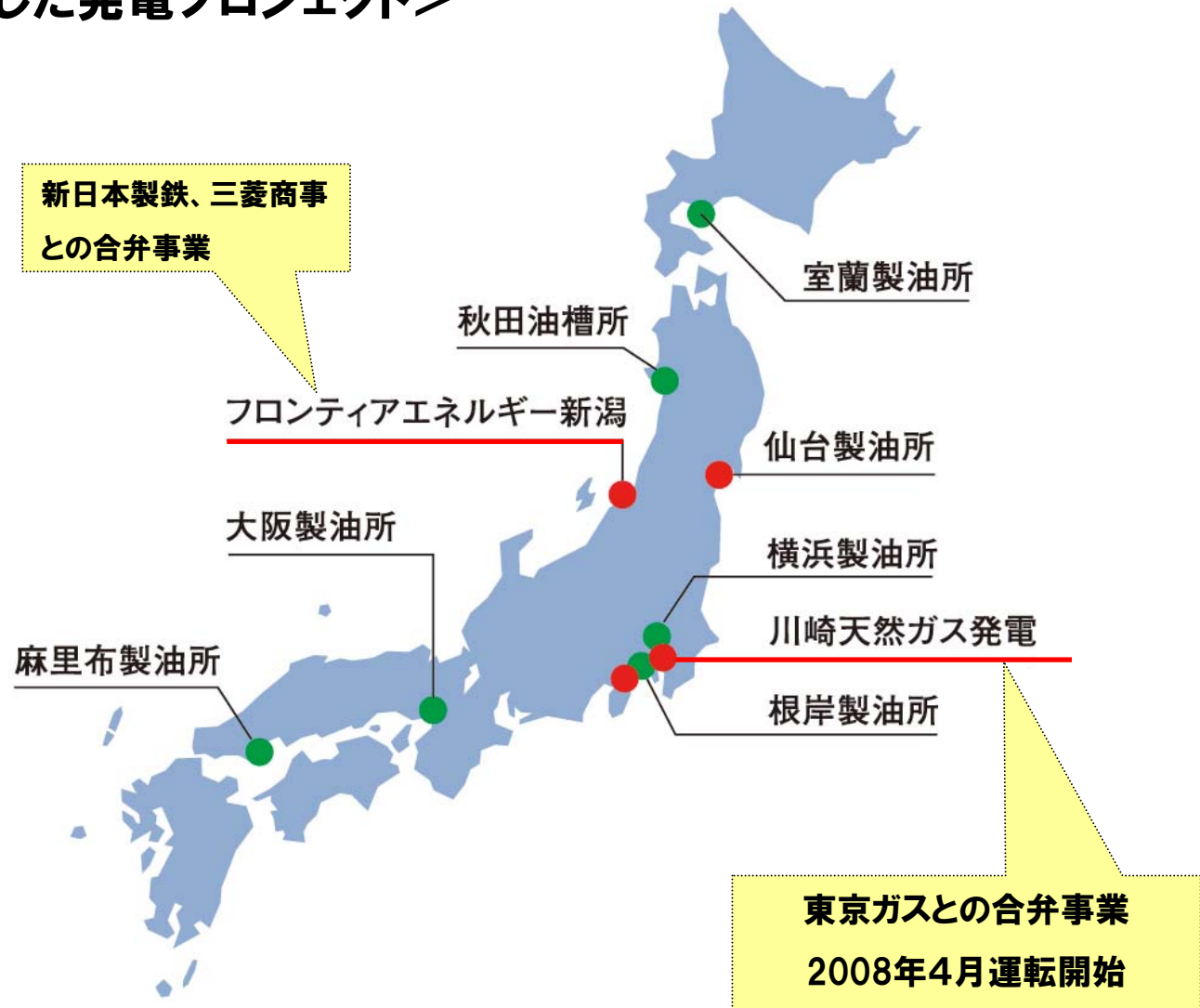
## <製油所インフラなどを生かした発電プロジェクト>

### ● 電力卸売り事業

- ・電力会社向けに販売

### ● 電力小売り事業

- ・大口需要家向けに販売

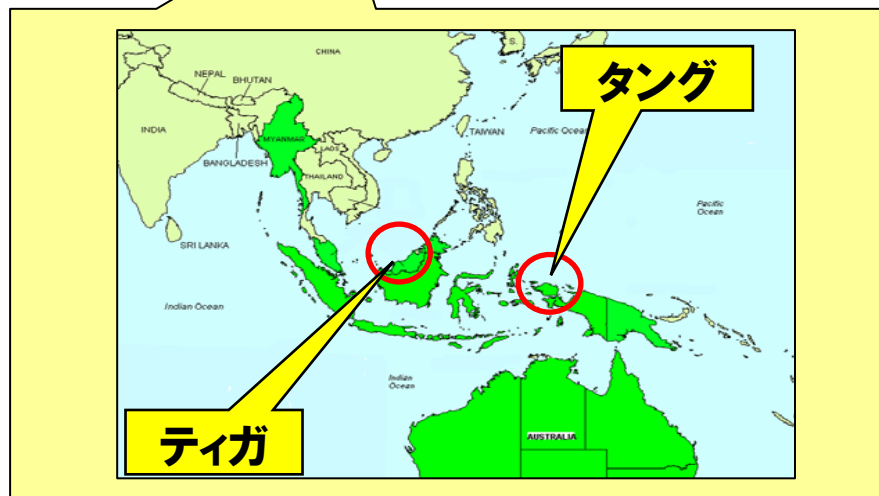


# 新エネルギー（天然ガス事業）

＜期待が高まるクリーンエネルギー＞

《天然ガスが供給されるまで》

日本で初めて、ガス採掘から販売まで  
すべて手がける一貫操業体制を確立



## ENEOS NEWヴィーゴ



国内最先端のエンジン  
清浄性能を実現した  
環境ハイオクガソリン

## 業界の取り組み(バイオ ガソリン)



バイオガソリンの販売開始  
2007年4月27日

関東地区50か所でスタート  
(当社系12か所)

## 第二世代バイオディーゼル燃料 実用化共同プロジェクト

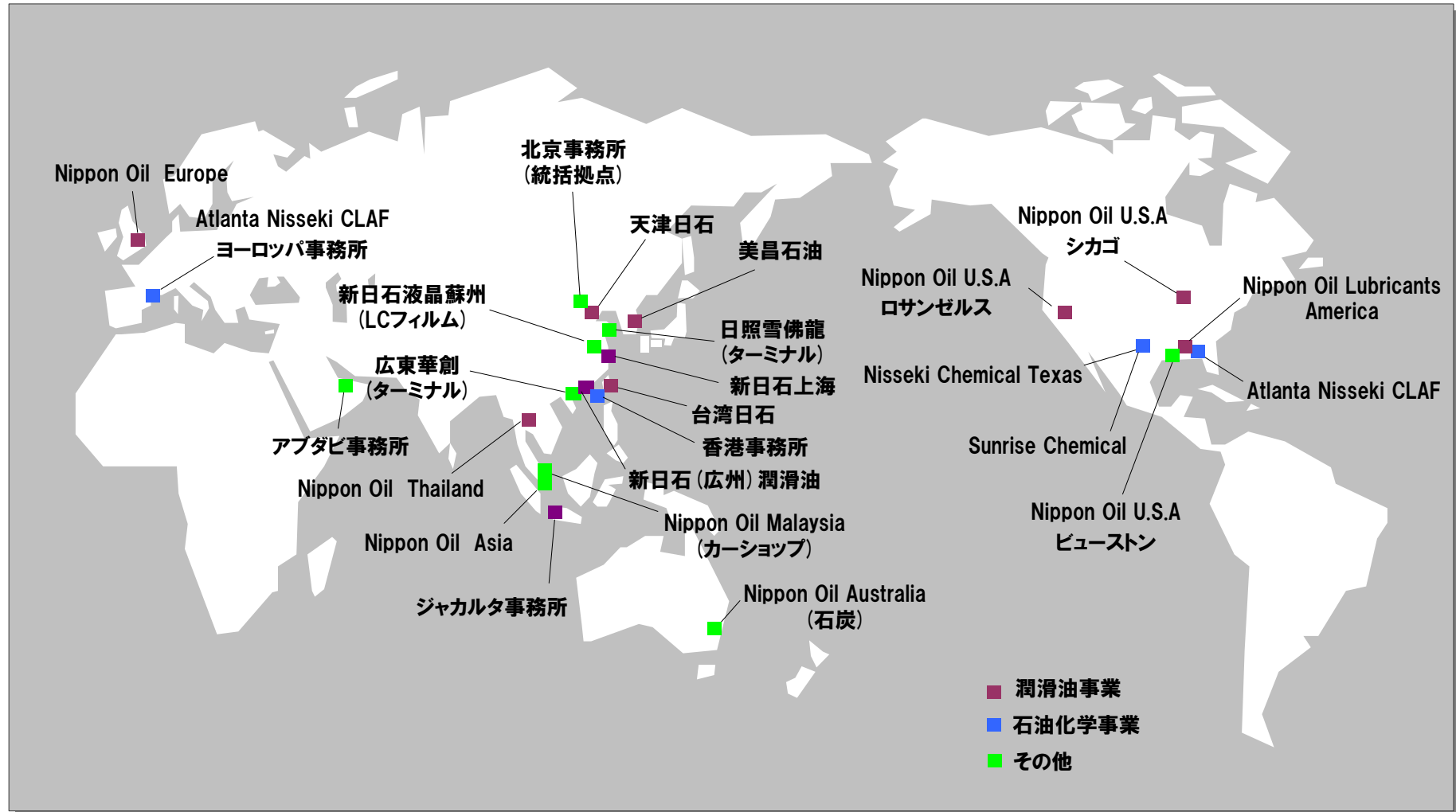
### 水素化バイオ軽油

植物油などから作られる  
環境にやさしい軽油

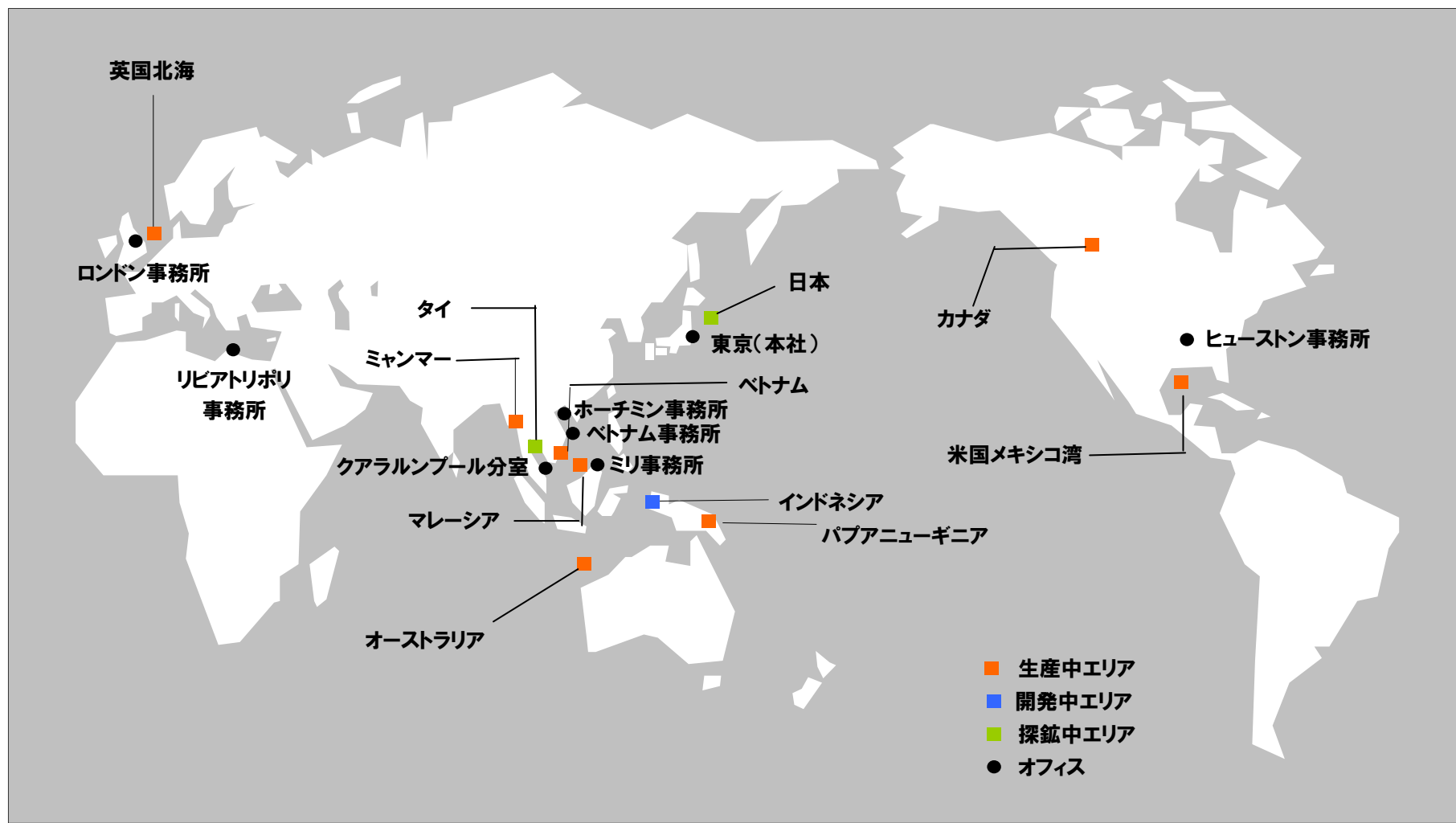




# 主な海外拠点

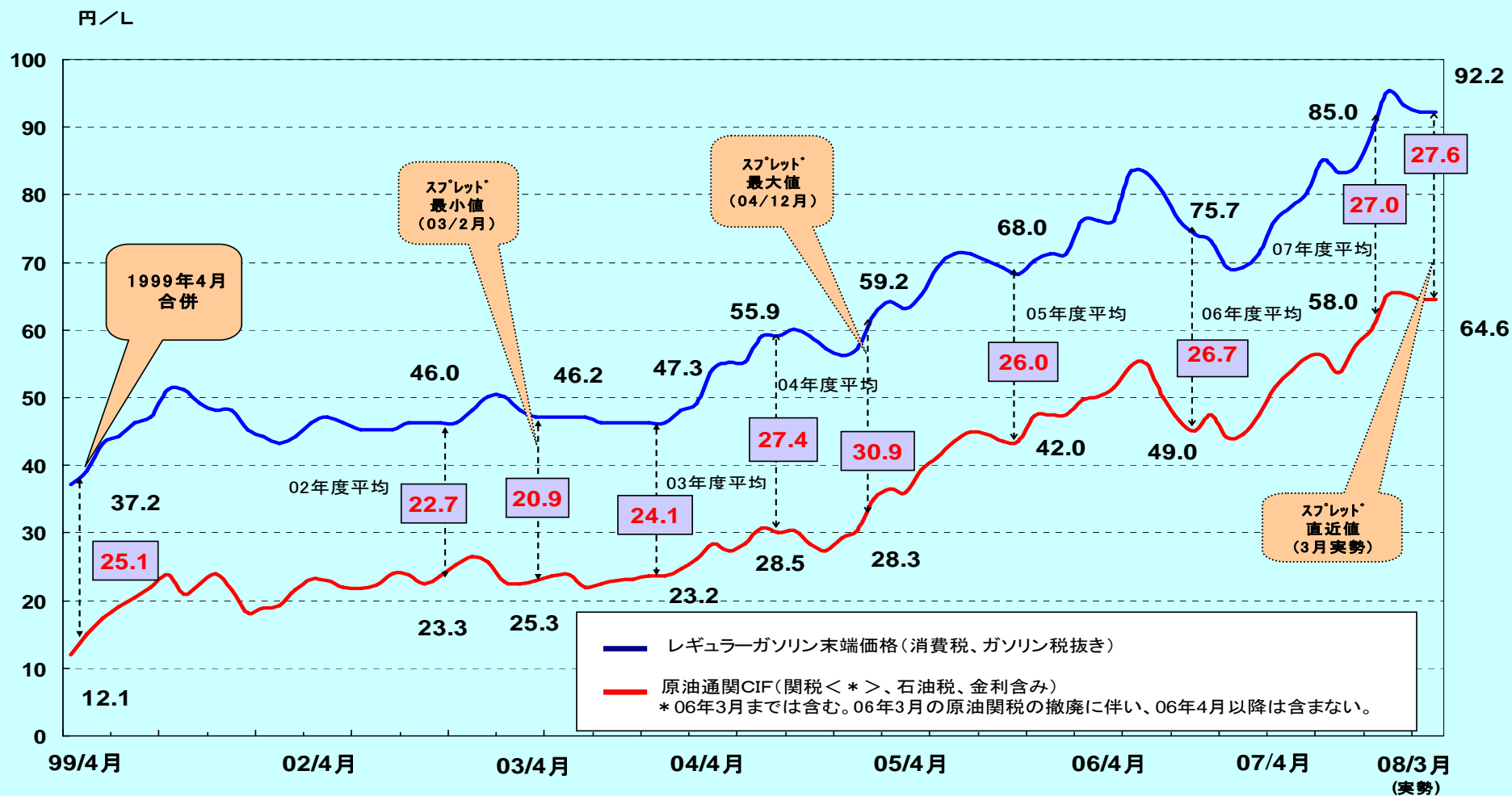


# <主な石油・天然ガス開発プロジェクト拠点>



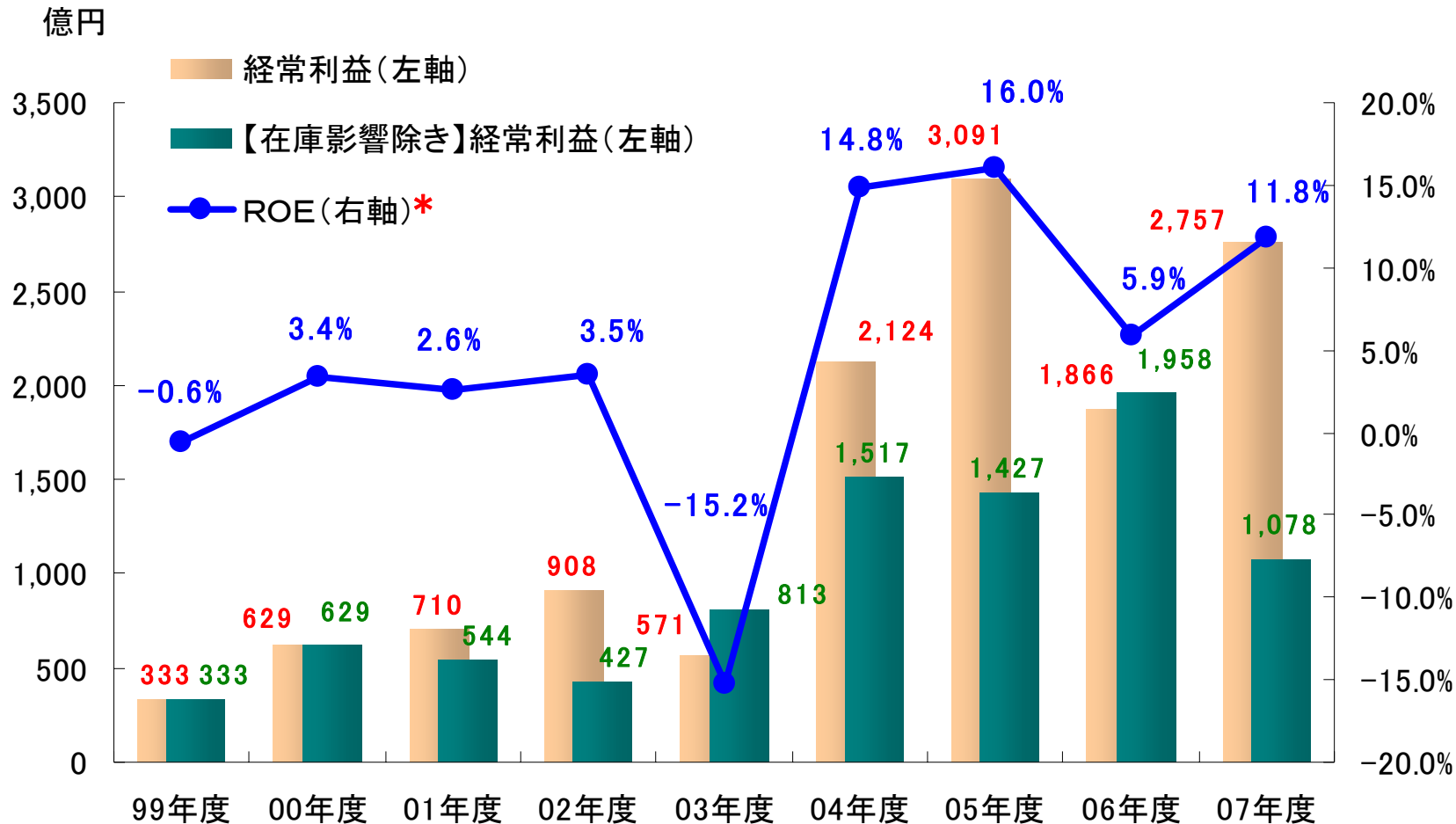
# <スプレッド（ガソリン末端価格－原油CIF）の推移>

06/4-6	06/7-9	06/上期	06/10-12	07/1-3	06/下期	06/通期	07/4-6	07/7-9	07/上期	07/10-12	08/1-3	07/下期	07/通期
25.4	27.2	26.3	29.6	25.1	27.3	26.7	24.3	27.7	26.0	28.5	27.7	28.1	27.0



出所:石油情報センターほか

# 経常利益およびROEの推移



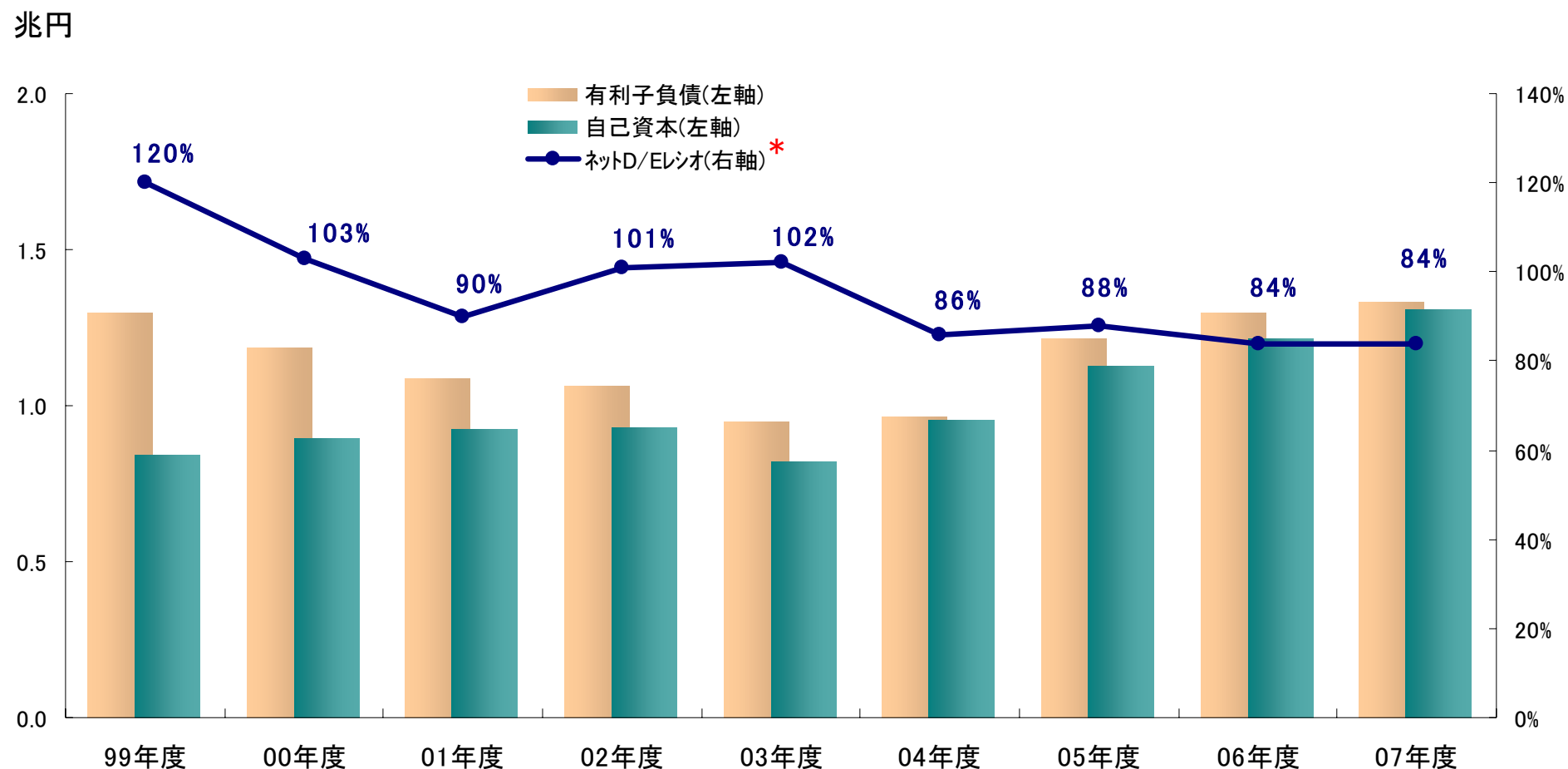
【第1次中期経営計画】

【第2次中計】

【第3次中計】

\*ROE (Return On Equity %) = 当期純利益 ÷ 株主資本

# 財務体質の推移（有利子負債、自己資本、ネットD/Eレシオ）



\* ネットD/Eレシオ(%) = (有利子負債 - 手元資金) / 自己資本